

# 沖縄県で初。 二人の心臓血管外科専門医師誕生。

心臓血管外科専門医は外科専門医のSubspecialityです。その取得にはまず外科専門医認定試験合格後、取得要件である高難度心臓血管外科手術を含めて多くの手術件数をこなし、且つFirst Author論文執筆等を行い受験資格を得て、その後に紙試験を受け初めて取得できる、本邦における専門医の中でも最も難しい専門医資格の一つです。ほぼ全ての心臓血管手術を執刀医としてこなせる技量を有することを意味します。

今年1月、第二外科から仲榮眞盛保医師と新垣涼子医師の2名がこの資格を取得しました。仲榮眞医師は末梢血管領域での本専門医資格の取得です。この領域での専門医取得は特に厳しく九州地区の200余名の全心臓血管外科専門医中わずか数名であり、沖縄県での30名の専門医の中では初めてです。近年、手術適応のある動脈硬化性末梢血管疾患が著しく増加しており、本領域の専門医不足は深刻で今後さらなる後続の専門医の誕生が期待されます。

新垣医師は成人心臓外科領域での取得ですが、女性医師の本専門医の取得は特筆すべきで九州地区でも4人目で、沖縄県では初めてです。女性医師でも外科専門医が増加している昨今ですが、さらにSubspecialityである本心臓血管外科専門医取得を目指し、取得するのは難易度が高く極めて名誉な事例で、心臓血管外科専門医を志す全国の女性医師に大いなる勇気を与えています。今後、女性目線によるきめ細かな心臓手術の工夫、その発展が期待されます。

いずれも沖縄県での末梢血管領域、女性医師としての初の心臓血管外科専門医です。今後のご活躍が大いに楽しみです。